

EU Indicators

欧州経済指標コメント：10月ドイツ I f o 企業景況感

発表日：2011年10月21日(金)

～中核国への財政危機の波及がドイツ景気の足を引っ張る～

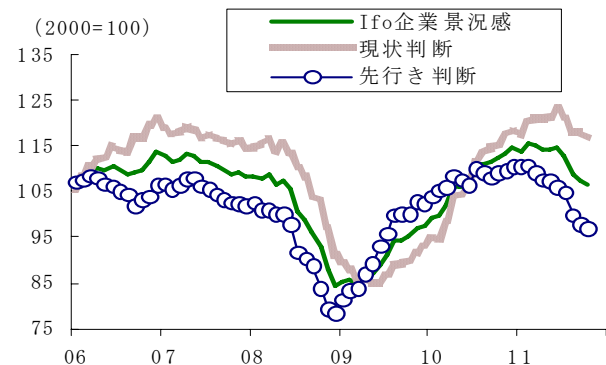
第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 田中 理

03-5221-4527

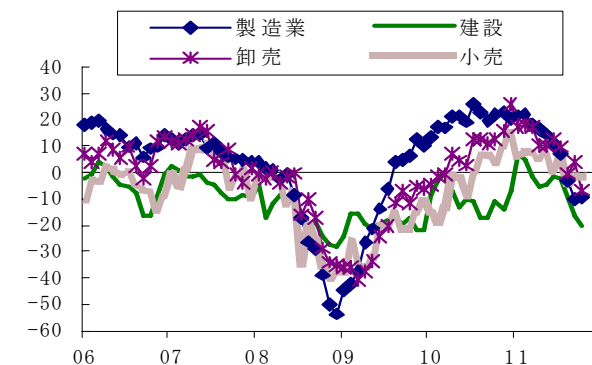
- 10月のドイツの I f o 企業景況感指数は4ヶ月連続で悪化し、昨年6月以来の水準に低下した。現状判断が4ヶ月連続、先行き判断が8ヶ月連続で悪化。景気の先行き不安に加えて、ここに来て企業関係者の間では現況についても厳しい見方が広がっており、総合指数にも一段の下落圧力が及んでいる。
- 但し、指数の水準そのものは、現状判断が2008年の景気後退期に入る以前と同水準、先行き判断も前回の景気後退期の初期局面と同水準と、持ち堪えている。新規受注が7・8月に2ヶ月連続の減少を記録するなど先行きの景気減速は避けられないが、9月の失業率が一段と低下したほか、8月の輸出が切り返すなど、実体経済の悪化がそれほど急速に進んでいる訳ではない。
- 今後は財政危機の影響がドイツ経済にも下押し圧力として働く恐れが高まっている。財政リスクがイタリア、スペイン、さらにはフランスなど域内の大国に広がりつつあり、財政緊縮や金利上昇の影響がユーロ圏全体でも無視できなくなる。また、資本増強を求められた域内の銀行が資産圧縮・貸出抑制に動く可能性があり、信用状況は今後一段とタイトになる公算が大きい。ドイツ政府は20日、来年の成長率見通しを+1.8%→+1.0%に下方修正。主要輸出先であるユーロ圏の景気の冷え込みが、ドイツ景気の足を引っ張ることが予想される。

■ドイツ I f o 企業景況感



出所：Ifo

■ドイツ：I f o 業種別の先行き判断



出所：Ifo

■ドイツ I f o 企業景況感

	2010				2011							
	4Q	1Q	2Q	3Q	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
企業景況感(総合)	113.4	114.7	114.2	109.6	114.9	114.1	114.1	114.4	112.8	108.6	107.4	106.4
現状指数	117.1	119.5	121.9	119.1	121.0	121.0	121.4	123.3	121.3	118.1	117.9	116.7
先行き指数	109.8	110.1	107.0	100.9	109.1	107.6	107.3	106.1	104.9	100.0	97.9	97.0
業況判断	18.9	21.5	20.5	11.7	21.9	20.3	20.3	20.8	17.8	9.8	7.4	5.4
製造業	25.2	29.1	27.8	16.3	29.3	28.4	27.5	27.4	23.1	15.4	10.5	9.7
建設業	-15.3	-5.5	-4.5	-5.8	-7.2	-5.7	-5.6	-2.1	-0.8	-6.5	-10.0	-13.6
卸売業	23.0	21.5	18.8	12.6	23.0	18.3	16.9	21.3	17.9	7.0	13.0	6.3
小売業	17.0	11.6	11.9	4.9	13.4	9.5	15.0	11.3	10.4	1.5	2.9	2.0

出所：Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。